



学校だより

令和6年3月12日
市川市立第六中学校
校長 植木 昭貴

【卒業を控え】

祝卒業

卒業式の2日前となった3月11日（月）、卒業式予行を行いました。1，2年生は13日の本番には参加することができませんが、今回は、1年生はリモートで、2年生は会場（体育館）で参加しました。



3年生の態度は本当に立派で、証書を受けるときの凛々しい表情や、心が込められた合唱「正解」の歌声など、本番さながらの様子を感じられていました。見ていた1，2年生も、3年生の卒業に向けた思いを十分に感じてもらえることができたのではと思います。



明日（13日）、207名の3年生が卒業します。3年生の皆さん、中学校生活はいかがでしたか？皆さんは義務教育を終え、今後は自分自身に一定の責任をもって人生を歩いていくことになります。皆さんが卒業してしまうのは寂しいですが、これからが人生の本番です。ぜひとも自信をもって力強く歩いていってください。卒業おめでとうございます。

【市川防災教育の日】



市川市では、東日本大震災が発生した3月11日を「市川防災教育の日」と定めており、本校では、3月6日（水）に防災教育を実施し、防災や災害への意識を高める取組を行いました。

今年は能登半島地震が発生し、甚大な被害や多数の犠牲者が発生しています。また、2月下旬より、千葉県で連続して地震が発生しており、心配な状況が続いています。

近い将来に大きな地震が発生する可能性はかなり高いといわれています。被害を最小限にするためには日ごろからの備えの有無が大きいといわれています。冷静に的確な判断や行動ができるよう、ご家庭でも危機への意識を再確認するとともに「いざという時の備え」（どのような手段で連絡を取り合うか・持ち出し物の準備はできているか・どこに避難するか等）について再点検してはいかがでしょうか。

なお、市川市の学校では、生徒が在校中の時間帯に震度5強以上の地震を観測した場合、生徒を学校に待機させ、「引き渡し」を基本として対応します。